

入場無料
予約不要

2019年12月7日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第96回 アントロポセン（人新世）とバイオミメティクス その3：新物質



微生物、植物から動物まで、生物はさまざまな化学物質を利用して生きています。時には、その化学物質は相手にとって毒となります。生物はこの「毒」を使って、身を守ったり、獲物を捕獲しています。「毒を以て毒を制す」の字のごとく、あえて「毒」に身をさらして治療に用いる生物までいます。また、この「毒」を素早く解毒できるようにしたり、もしくは「毒」が効かないように体の機能を変化させるなど、「毒」に対抗する能力を進化の過程で獲得してきた生物は数多くいます。そして、ヒトは生物の「毒」を経験から学び利用してきました。



このセミナーでは、長きにわたる生物の「毒」の利用とその多様な攻防を紹介し、生物が身の回りの「毒」にどのように適応してきたのか、考えてみたいと思います。



毒と生物の攻防

石塚 真由美

北海道大学大学院獣医学研究院 教授

主催：北海道大学総合博物館
共催：高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
高分子学会バイオミメティクス研究会
公立千歳科学技術大学地域連携センター

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分